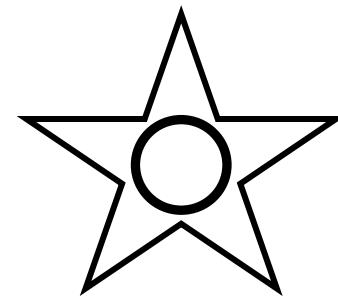


2020(令和2)年度 市政懇談会



～ つながる まち・ひと・みらい

ひがし北海道の拠点都市・釧路 ～

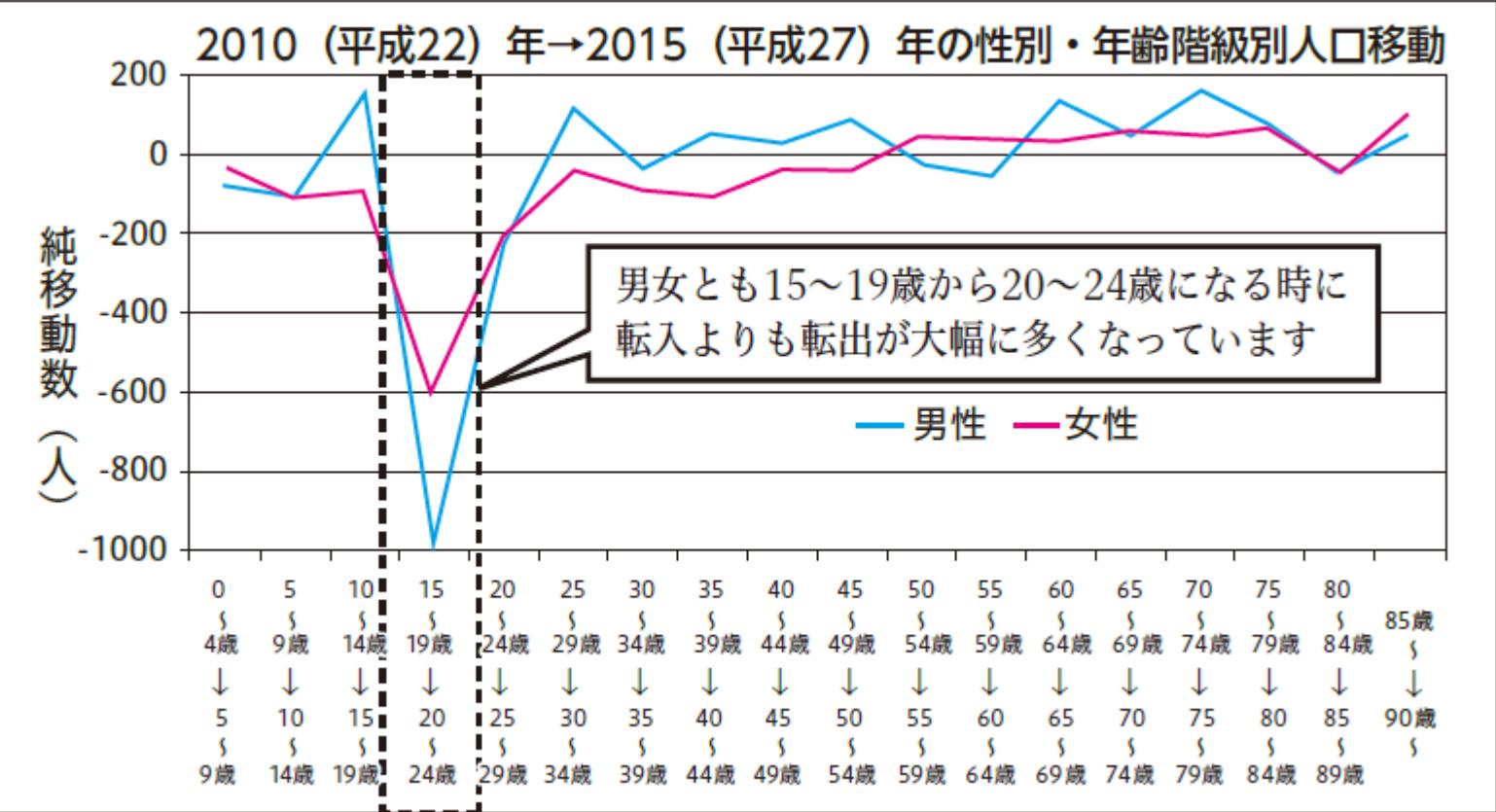


北海道釧路市

釧路市の現状と課題について

◎釧路市の人口の現状と将来展望について

●若者の転出超過が課題



●人口減少が進むと、さまざまな影響が出てくる

- ・少子化の加速
- ・都市機能の縮小・悪化
- ・次世代の担い手の減少
- ・雇用・経済活動の縮小



●目指すべき将来の方向

人口減少に対応するためには、子どもを生み育てたいという希望を持つ若い世代に釧路に定着していただくことが重要

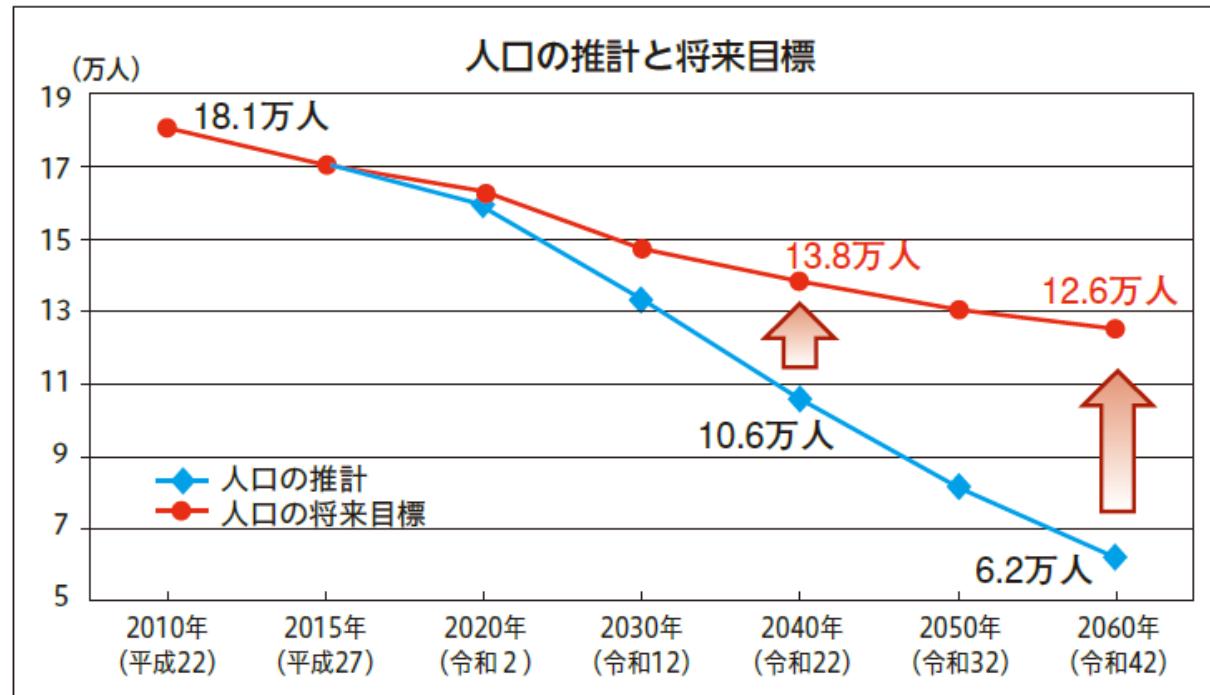
総合戦略に掲げる施策を推進し、人口の将来目標の達成を目指す



●人口の将来目標

- ・2040(令和22)年:
10万6,000人⇒13万8,000人
- ・2060(令和42)年:
6万2,000人⇒12万6,000人

●人口減少に歯止めをかけるため目標を設定

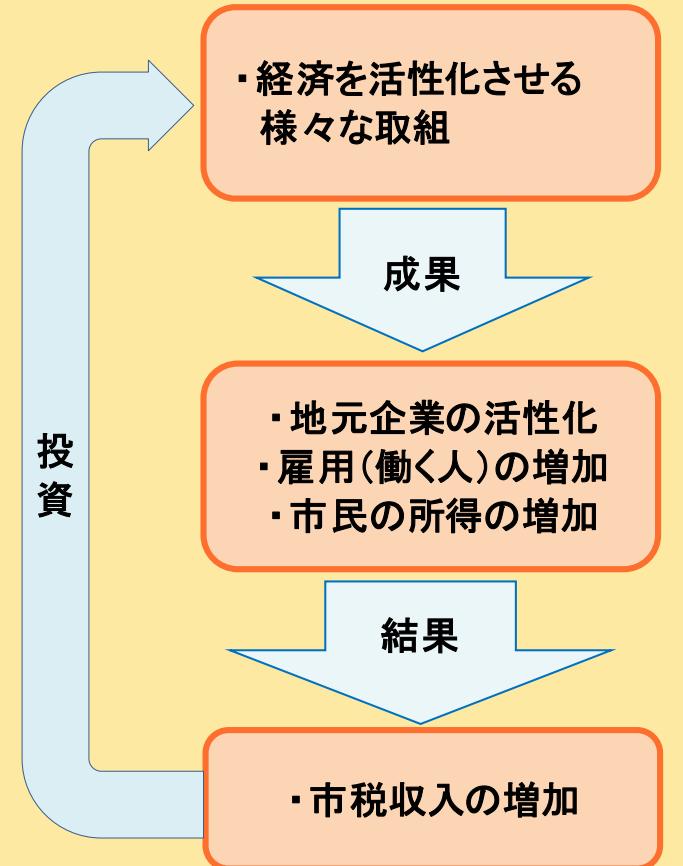


市税の状況 ～ 人口の減少と市税の増加 ～

人口が減少している中であっても、釧路市の市税収入は増加傾向にあります。

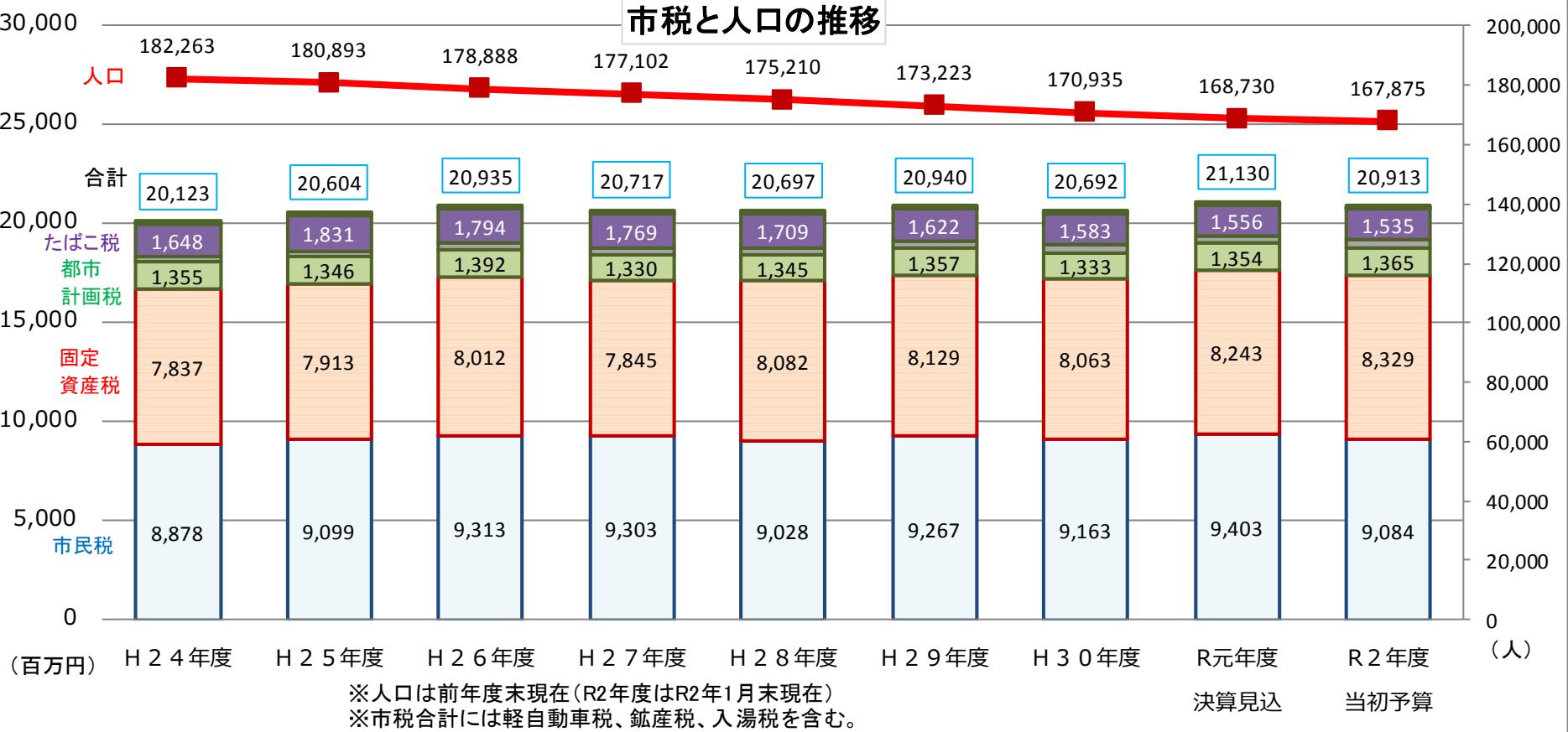
釧路市の財政構造改革

◆人口減少に対し、「釧路市まちづくり基本構想」において主軸とする、まちの活力を高める「経済活性化」の取組を進めています。



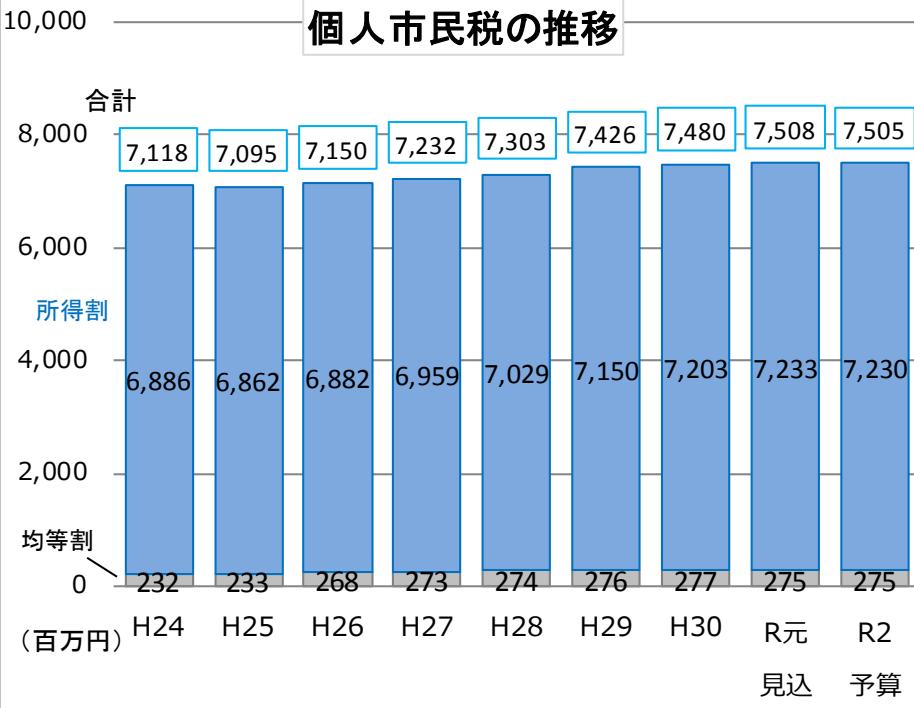
◆釧路市の自立的発展を目指すため、今後も引き続き経済を活性化する取組などを進めることにより、市税などの増収を図り、持続可能で安定的な財政構造への改革を進めてまいります。

市税と人口の推移

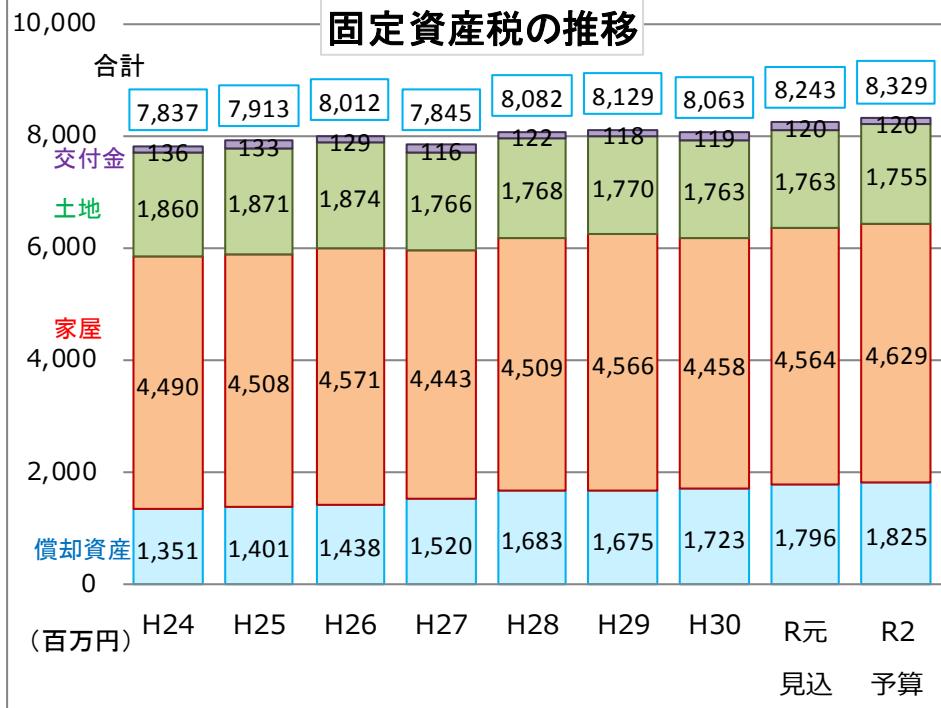


市税の大宗を占める個人市民税、固定資産税ともに増加傾向にあります。

個人市民税の推移



固定資産税の推移



2020(令和2)年度の予算について

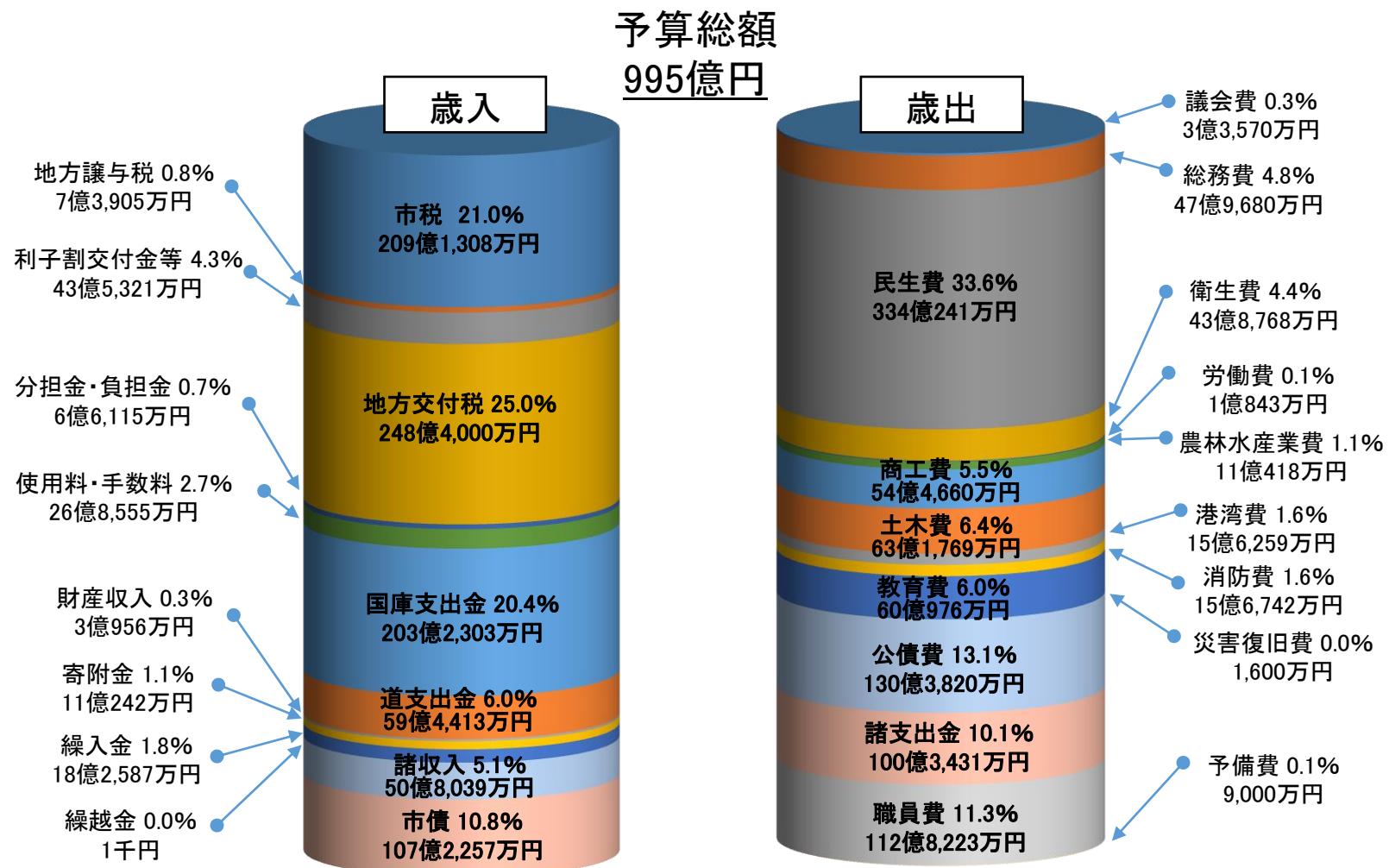
2020(令和2)年度の一般会計予算は、**995億円**(前年比42億円増)

2020(令和2)年度の予算 (会計区分別)

(単位:億円)

会計区分	当初予算額		比較	
	2020年度 (令和2年度)	2019年度 (令和元年度)	増減額	伸び率
一般会計	995	953	42	4.4%
特別会計	382	380	2	0.5%
企業会計	428	420	8	1.9%
合計	1,805	1,753	52	3.0%

2020(令和2)年度 一般会計予算の構成



※項目ごとに四捨五入をしているため合計が一致しない場合があります

「釧路市まちづくり基本構想」重点戦略の推進について(政策テーマ)

★ 政策テーマとは

2020(令和2)年度予算編成においては、釧路市まちづくり基本構想における重点戦略の取組をさらに推進するため、「域内連関」の考えのもと、5つの政策テーマを設け、その実現に資する事業に対して、予算の重点化を図りました。

まちづくり基本構想 重点戦略

まちの活力を高める
経済の活性化

地域経済を担う
人材育成

経済活動を支える
都市機能向上

政策テーマ

- ①地元企業の振興と地域経済を担う人材の確保
- ②地域資源を活かした世界一級の観光地域づくり
- ③学力向上と幅広い連携による子どもたちの可能性の拡大
- ④コンパクト・プラス・ネットワークを基本とする持続可能なまちづくり
- ⑤「強靱化」「防災」の考え方を取り入れた地域社会の構築

★ 域内連関とは

釧路市まちづくり基本構想における、地域内の様々な主体がテーマを共有し、それぞれの強みや地域資源を生かしながら、付加価値の創造や地域課題の解決に向けて行動する考え方です。

ポイント

【域内連関の仕組み】

テーマを共有し、共に行動



地域のつながり、信頼関係の強化



災害や社会、経済の変化に立ち向かうための力が生まれる



持続可能な地域社会へ

※関係予算の一部を掲載しているため、個別予算額と合計予算額が一致しない場合があります

※予算額は万円未満で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

主な政策テーマ関連事業について

①地元企業の振興と地域経済を担う人材の確保

5億9,851万円

雇用を創出し、親になる世代を確保して急激な人口減少に歯止めをかける

地元企業の振興

4億9,129万円

事業内容

釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizを中心に、地元企業の稼ぐ力を強化し、域内循環と外貨の獲得による売上拡大への支援に取り組み、雇用の拡大を目指します。

取組例

【ビジネスサポートセンター事業】

予算額: 5,785万円

釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizの事務局体制の強化(チーフディレクターの配置)

【IoT推進事業】

予算額: 614万円

IoTを活用した地域課題の解決を目指す。(釧路市IoT推進ラボへの助成及びICT活用実証事業)

【企業誘致促進事業】

予算額: 296万円

地域特性を生かした企業誘致活動及びサテライトオフィス誘致に向けた取組の推進



ICT活用に向けた民間企業との連携

人材の育成・人材の確保

1億722万円

事業内容

地域に根ざした仕事の魅力を、これから働く人たちに伝えることで、地元就職を選択する機会を創出するとともに、道内外からの人材誘致に取り組み、人材の確保・定着を図ります。

取組例

【人材確保・定着促進事業】

予算額: 214万円

地元企業や経済団体等と連携協力体制を構築し、地元企業の情報や魅力の発信とともに、中高生等との交流機会の拡大によって、若い世代の地元定着を促進します

「はたらく×中高生・つながるプロジェクト」



【UIJターン推進事業】

予算額: 766万円

就職マッチング制度の運用と帰省シーズンに合わせたUIJターン就職個別相談会の開催

地元企業の情報を伝える取組



主な政策テーマ関連事業について

③学力向上と幅広い連携による子どもたちの可能性の拡大 6,988万円

子どもたち一人一人の生きる力、可能性を伸ばし、豊かな育ちと学びを創造

学力向上に向けた取組

6,945万円

事業内容

「授業づくり」「環境づくり」「習慣づくり」の3つの視点から、学校・家庭・地域が一体となった取組を進め、児童生徒の確かな学力の向上に努めます。

取組例

【学力向上に向けた中学生への対応強化】

難易度等に応じて、生徒自らが家庭学習に取り組むことができるよう、北海道教育大学と連携し、放課後学習サポートを中学校に導入

【学力向上先進地調査の実施】

授業づくりや学力向上施策で成果が表れている秋田県大館市の取組事例を調査し、授業改善や教員等の資質向上を図る

【ALTの拡充】

・学習指導要領の改訂に伴う小学校における英語の教科化の開始に向け、ALTを増員し、英語教育の充実を図る
(ALTの増員:5名体制⇒6名体制へ)

地域や企業と連携したキャリア教育の推進

43万円

事業内容

将来の職業や仕事への関心を高める「キャリア教育」の推進に加えて、地元企業や経済団体、産業振興部と連携協力体制の構築により、働く意義や地元企業を知ってもらう取組を推進します。

取組例

【釧路青年会議所(JC)との連携協定事業】

中学生を対象に地元で活躍する企業人による職業講話の実施など、地域に根付いたキャリア教育を推進

【くしろキッズタウン事業】

北海道コカ・コーラボトリング株式会社主催による小学生を対象とした職業体験事業

放課後学習サポート



ALTによる授業



JCによる職業講話



新型コロナウイルス感染症対策における役割について

● 国の役割

- ・緊急事態宣言発令
- ・総合的な対策である基本対処方針作成と推進
- ・全国の医療体制の調整
- ・企業や国民への経済的な支援 など



✳ 北海道の役割

- ・国の方針に基づいた対処方針の作成と推進
- ・感染拡大防止にむけた全般的な対策
- ・PCR検査実施と感染者への医療提供
- ・道内の医療体制整備
- ・独自の経済対策の実施
- ・各種対策実施にあたっての市町村との調整
- ・措置の検討と実施 など

・発生状況の公表

※感染症の発生状況の公表は、都道府県知事および保健所の事務を行う市の市長が行うこととされています（北海道の保健所政令市は、**札幌市、函館市、旭川市、小樽市**）。

《北海道の対策(段階的緩和)》

6月以降の段階的緩和

項目	項目	ステップ1	ステップ2	ステップ3	移行期間後
		6/1~6/18	6/19~7/9	7/10~7/31	8/1~8/31
外出の自粛等	施設の利用 接待を伴う飲食店、ライブハウス等	慎重に対応	「新北海道スタイル」の実践による感染拡大の防止 (新しい生活様式の実践等)		
	他都府県との不要不急の往来				
	札幌との不要不急の往来				
使用施設制限等	業種別のガイドラインが策定済の施設 接待を伴う飲食店、ライブハウス等	慎重に対応	「新北海道スタイル」の準備が整った施設から順次再開		
	屋内イベント	100人以下 収容率50%	1,000人以下 収容率50%	5,000人以下 収容率50%	5,000人以下 収容率50%
のイベント制限等	屋外イベント	200人以下 十分な間隔	1,000人以下 十分な間隔	5,000人以下 十分な間隔	5,000人以下 十分な間隔

☆ 市の役割

- ・国や道の対策と一体となった具体的な対応の検討と実施
- ・市内の感染症対策実施
- ・市民への周知啓発 など

釧路市の主な新型コロナウイルス感染症対策(経済的影響対策)について

●「釧路市経営・金融相談窓口」開設(2/26～)

- ・国・北海道・市の制度をワンストップで対応
- ・相談件数 : 2,181件 ※8/12現在
- ・セーフティネット保証関係 : 1,425件 ※8/12現在

●新型コロナウイルス感染症緊急特例融資事業

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少した事業者の短期つなぎ資金(丸釧資金特例措置)
- ・実績 : 32件 / 5,550万円

●休業等支援金給付事業

- ・店舗の休業や営業時間の短縮に協力頂いた事業者を支援
- ・1事業者計30万円となるよう北海道の支援金に上乗せ
- ・実績 : 釧路市独自支給分 225件 / 6,750万円 ※8/12現在
北海道補助への上乗せ支給分 1,018件 / 1億4,790万円 ※8/12現在

●業務用水道料金および下水道使用料の減免

- ・市内事業者の固定経費の負担軽減として、5月・6月請求分の業務用水道料金および下水道使用料を減免
- ・実績 : 水道料金 11,492件 / 2億2,971万円
下水道使用料 10,424件 / 3億6,931万円



釧路市の主な新型コロナウイルス感染症対策(経済的影響対策)について

●ホテル等宿泊促進支援事業

- ・利用者が減少している市内ホテル・旅館等に、道内在住者の宿泊を促進するため、6/26~8/31の期間で3,000円相当を宿泊施設へ助成



●持続化給付金申請サポート窓口

- ・オンライン申請の入力代行等を行う申請サポート窓口を設置
- ・実績:121件 ※8/12現在



●子育て世帯応援事業

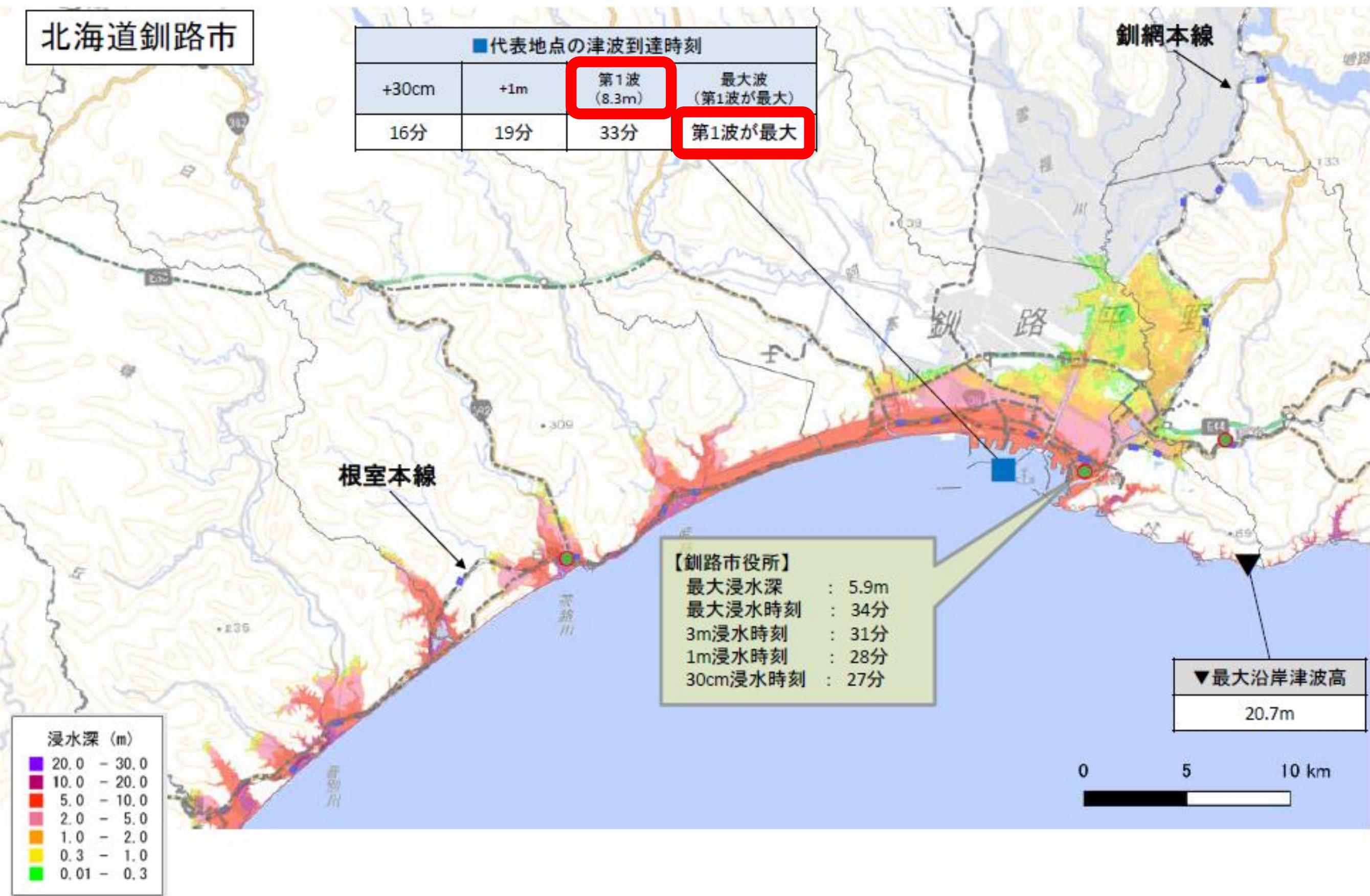
- ・18歳までのお子様一人につき1万円分(500円券20枚綴)の商品券を9月上旬から各家庭へ郵送
- ・「釧路市エール商品券」で登録されている飲食店・物販等の両参加店共通で、R3/2/28まで使用可能

●飲食店・宿泊施設感染防止対策支援事業

- ・アクリルパーティションやフェイスシールド等の飛沫感染防止用品に対して、購入経費の10分の9を補助
- ・補助上限額
 - ①飲食店:20万円(2店舗以上の場合40万円)
 - ②宿泊施設A(宴会場等あり):60万円
 - ③宿泊施設B(宴会場等なし):40万円



日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波について



釧路都心部まちづくり計画について

◎事業構想編の策定

基本構想編を踏まえ、駅周辺の鉄道施設・交差道路・土地区画整理の3つを柱とした、
 具体の事業構想をまとめるもの(2019年度～2020年度の2カ年での策定を目標)。

1 都心部の将来像等を踏まえた駅周辺再整備のイメージ

2 都心部の将来交通ネットワーク

● 鉄道高架化、交差道路、土地区画整理、による都市基盤整備を検討

● 釧路の「顔」となる駅周辺空間の再整備と景観づくり

● 駅南北の連続性が確保され、乗り継ぎ利便性に優れた交通結節機能の導入 など

● 市民や来訪者のニーズに対応した都市機能の集積・誘導

● 防災・減災のための機能確保 など

● 賑わいを創出する歩行空間の利活用促進 など

ゲートウェイとにぎわい交流ゾーンを
 人と公共交通中心の道路空間に再構築
 人の賑わいを波及させる交通ネットワークとする。

将来交通ネットワークの概念図

道路分類	整備方針(道路構造等)
都心部環状道路 (跨線橋平面化)	4車線を基本
都心部放射道路 (既存道路活用)	2車線を基本
都心部補助道路 (既存道路活用)	2車線を基本
都心部南北道路 (一部区間新設)	2車線を基本